豊かで活力ある地域づくり

■魅力ある地域づくり

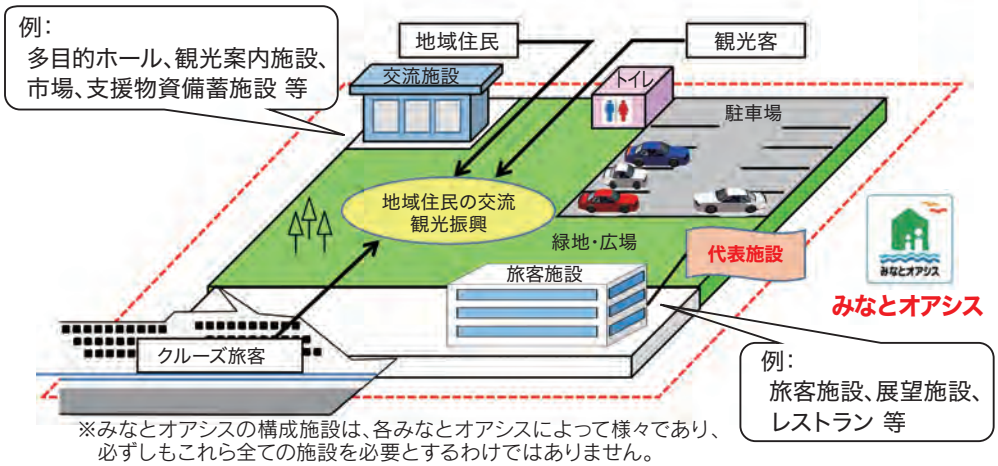
○「かわ」を核とした魅力ある水辺空間の創出

古くから培われてきた地域の歴史や文化、人々の生活との繋がりなど、水辺にはその地域特有の資源が眠っています。
その地域資源をかわまちづくり等によって地域の「顔」と「誇り」となる水辺空間の形成を目指します。

～民間企業による水辺を活用したイベントの開催～

○「みなと」を核とした住民参加による地域振興の取組

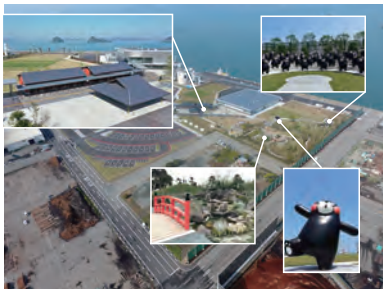
「みなと」を核としたまちづくりを促進しており、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として全国152箇所（九州管内22箇所）登録（令和4年1月末時点）しています。
令和3年度は、「みなとオアシス八代」が新たに登録されました。



※みなとオアシスの構成施設は、各みなとオアシスによって様々であり、必ずしもこれら全ての施設を必要とするわけではありません。

みなとオアシス八代（熊本県八代市）

代表施設：旅客ターミナル



構成施設：くまモンポート八代

○まちづくりと調和した「官庁施設」づくり（官庁営繕）

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◇鹿児島第３地方合同庁舎(鹿児島県鹿児島市)

「歴史と文化の道」に面する庁舎（令和5年度完成予定）

◇福岡第２法務総合庁舎(福岡県福岡市)

まちづくりと調和した施設づくり（令和元年7月完成）

○「国営公園」を核とした魅力ある地域づくり

豊かな自然環境や優れた文化的資産を生かして、多様なニーズに応える広域レクリエーション拠点や歴史・文化の体験・発信の拠点となる国営公園の整備・管理を進め、地域連携の取組を通じて、地域活性化に寄与します。

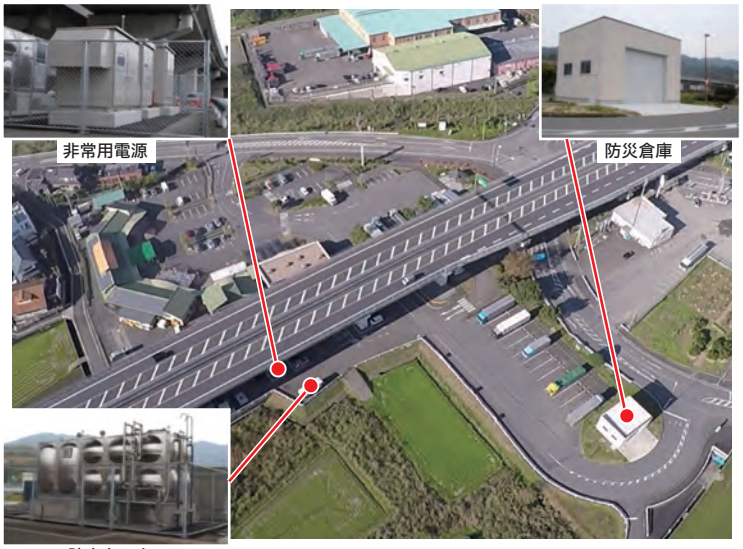
海の中道海浜公園

国営吉野ヶ里歴史公園

○「道の駅」の第３ステージの推進

「道の駅」は、九州で１３８箇所登録されています（令和４年４月時点）。「道の駅」の第３ステージとして、防災拠点化（「防災道の駅」等）やニューノーマルへの対応、地域センター化に向けた取組を推進しております。

防災拠点化



貯水タンク

「防災道の駅」をハード・ソフト面で支援
道の駅「たのうら」

九州の「防災道の駅」：
「うきは」「させぼっくす 99」「たのうら」「ゆふいん」「都城」「たるみずはまびら」

ニューノーマルへの対応

キャッシュレス決済の導入促進
道の駅「しんよしとみ」

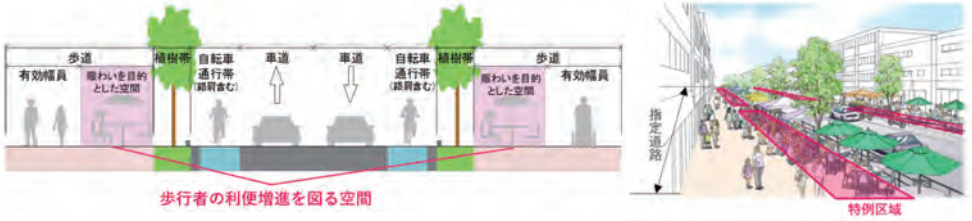
○ニューノーマルの事例
・キャッシュレス決済
・通販・EC 対応等の取組の促進
・トイレの洋式化
・デジタルサイネージによる情報提供

地域センター化

地域の賑わいを創出する道の駅の整備
道の駅「くしま」

○歩行者利便増進道路（ほこみち）

ほこみちとは、賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度のことで、令和３年12月に九州初のほこみちとして熊本市と久留米市の市道が指定されました。



歩行者利便促進道路（ほこみち）イメージ

市道 新市街下通2丁目第1号線
（熊本市）